

第3回 国道169号下北山村上池原地区防災対策

検討委員会 議事概要

- 1 日時 : 令和6年2月7日 14:00～
- 2 場所 : 奈良県庁 災害対策本部室 (オンライン併用)
- 3 出席者 :

委員長	京都大学 名誉教授	大西 有三
委員	関西大学 社会安全学部 教授	小山 倫史
委員	国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路基盤研究室長	渡邊 一弘
委員	国立研究開発法人 土木研究所 地質・地盤研究グループ 上席研究員	浅井 健一
委員	国土交通省 近畿地方整備局 近畿道路メンテナンスセンター長	青山 淳
委員	奈良県県土マネジメント部次長 (土木・政策統括担当)	安井 広之

4 議 事

- (1) 資料説明
- (2) 質疑・意見交換

主な議事内容

(1) 資料説明

事務局より配布資料に沿って説明

- ・ 第2回検討委員会の議事要旨
- ・ 2月7日までの対応状況
- ・ 調査結果
- ・ 応急対策の基本方針
- ・ 応急対策時の安全管理
- ・ 応急対策工案
- ・ 恒久対策案
- ・ 今後のスケジュール (案)

(議事)

○今回の崩壊現象について

- ・基盤が岩盤であることを考慮すると、岩盤（風化が進んだ状態も含むとして）すべりと言えるのではないか。ただし、土砂系ブロックが緩慢に動く一般的な地すべりとは異なると思われる。今後、モニタリング等が必要。

○調査について

吹付裏の空洞調査については、空洞確認箇所地山の緩みの確認も必要。赤外線調査で空洞がないと推定される場所についても、検証が必要。

○監視基準について

緊急対策時及び応急対策時の通行規制のための基準値については、厳しめの設定だが、今後の経験雨量や伸縮計の値を確認しながら、緩和する方向でよい。ただし、対象が岩盤斜面であることから、変状発生からの動きが早いことを注意し、十分な監視体制を確保すること。また、規制緩和の上限値は決めておく必要がある。

○応急対策案について

仮橋案を基本に進めていくことです承。

○恒久対策案について

引き続き調査を進め、その結果を踏まえ、第4回以降の委員会で議論。